

PICK UP LAB !

持続可能な未来をつくる

SDGs
×
崇城の研究力

薬学科

[分析化学研究室]

活性酸素の「悪い性質」を
利用した抗がん剤で、
がん治療に新たな可能性を

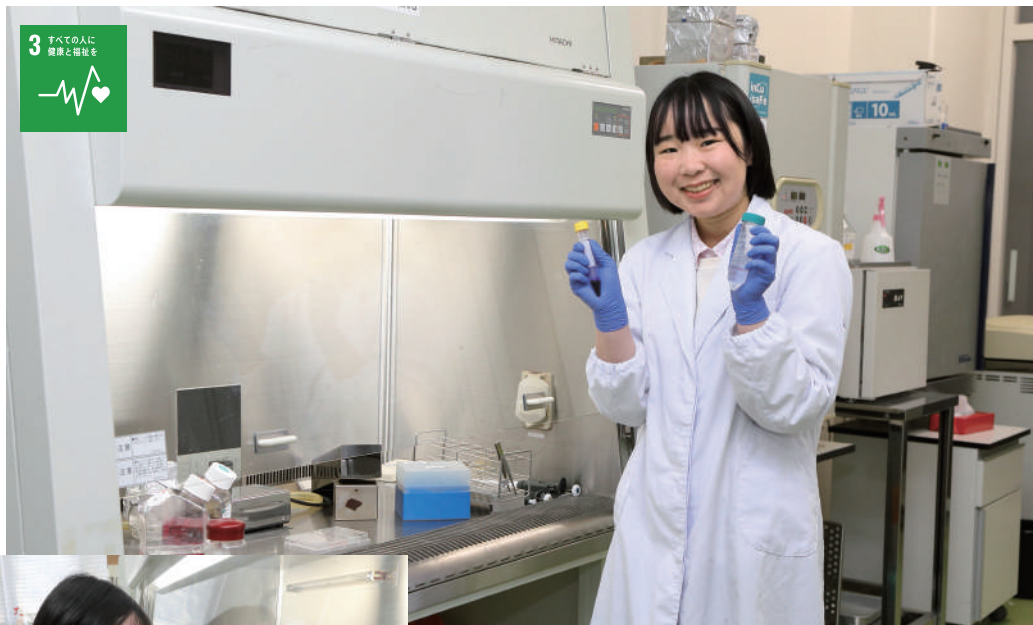
過剰に生成されると脂質やタンパク質、DNAを傷つけ
細胞死を引き起こす活性酸素の毒性を強めることで、
新たな抗がん剤の開発を目指しています。



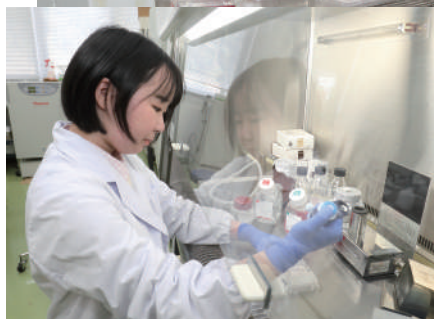
岡崎先生

人体に良くも悪くも
働く活性酸素を
深く知ることが大切

活性酸素は、体内でウイルスやがん細胞を攻撃する役割を担っていますが、同時に正常な細胞にもダメージを与え、老化や病気を引き起こす原因にもなります。この活性酸素を学ぶことで治療薬開発の手がかりを探り、老化や病気の評価に役立てる研究を行っています。困難も多いですが、原因を見逃さない観察力と粘り強さを身につけられていると思います。



3 すべての人に
健康と福祉を



瀬川さん

5年生 山口県／下関西高校出身